



当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。
<https://www.taiseirotec.co.jp/>



CSR報告書
2021

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2021

【表紙解説】
 「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」を企業理念に掲げ、60年間積み重ねてきた信頼と実績を表現しています。



本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。再生可能資源で環境負荷を大幅に低減する植物油含有の印刷インキと、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用しています。

企業理念

自然と社会と人に 深くかかわる企業として、 人々のために より良い環境を創造する。

大成ロテック株式会社は、持続可能な開発目標の設定を通して、企業の社会的責任を果たし、人びとのためにより良い環境を創造して社会とすべての利害関係者の信頼を得られるように努める。これを実現するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

品質方針

創造力と知恵を結集して技術の研鑽に努め、社会と顧客から評価され信頼される品質を提供する。

環境方針

地球環境、地域環境の保全を推進し、資源の有効な利用によって、循環型社会の実現に取り組み、次世代に託す美しい快適環境を創造する。

安全衛生方針

安全第一の精神を基本として、先取り型の安全衛生管理活動を全員参加で実践し、法令を順守し、労働災害、公衆災害、交通事故を撲滅して、健康でストレスのない明るい快適な職場を構築する。

CONTENTS

企業理念	1	大成ロテックの技術	9
会社概要	3	製品事業本部の取り組み	12
中期経営計画(2021~2023年度)	3	マネジメント報告	13
営業所ネットワーク	4	従業員とともに	15
社長メッセージ	5	地域社会とともに	18
特集 東日本大震災の復興支援道路開通に貢献	7	安全衛生管理体制	19
国道106号 新区界トンネル舗装工事		環境活動報告	21
		2020年度の工事実績	22

編集方針

本報告書は、大成ロテック株式会社が社会に果たす役割とさまざまな取り組みを皆様にお伝えし、当社の活動に対する理解を深めていただくことを目的に発行しています。

対象期間

2020年4月1日~2021年3月31日 *一部期日を明記した上で当該期間以外の内容も記載しております。

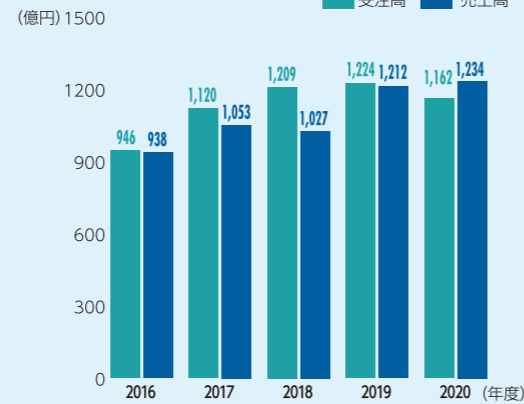
お問い合わせ先

大成ロテック株式会社 社長室 経営企画部
東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL 03-5925-9435 FAX 03-3362-5804

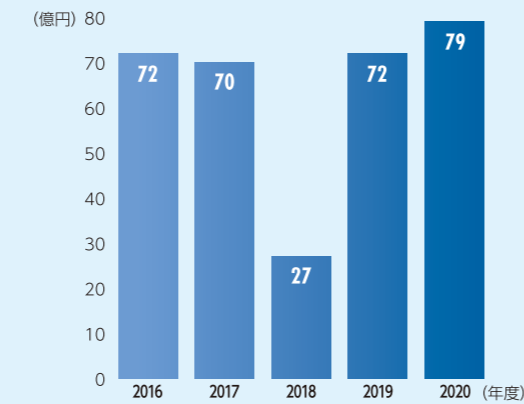
会社概要

- 商号 大成ロテック株式会社(英文名 TAISEI ROTEC CORPORATION)
 本社 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
 設立 1961年6月15日(昭和36年)
 資本金 113億5百万円
 建設業許可 国土交通大臣許可(特-29)第1964号・(特-30)第1964号
 建築士事務所登録 1級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)
 建設コンサルタント登録 国土交通大臣登録 建01第130号
 宅地建物取引業免許 東京都知事(12)第 33255号
 従業員数 1263名(2021年3月31日現在)
 営業種目 **1**次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング
 (1)道路工事 (2)舗装工事 (3)防水工事
 (4)管工事 (5)造園工事 (6)その他の土木工事
 (7)その他道路に関する工事 (8)建築工事
2建設用資材の製造および販売
3建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸
4道路、空港、上下水道その他公共施設等の企画、建設、保有、維持管理及び運営
5スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸
6産業廃棄物の処理ならびにその再生品の製造および販売
7不動産取引および不動産管理に関する事業
8発電およびエネルギー供給事業
9貨物利用運送事業
10前各号に付帯関連する一切の事業

受注高および売上高



経常利益



中期経営計画 (2021~2023年度)

当社はコンプライアンス遵守を基本とする経営方針のもと、高収益体質への転換に取り組み、今後の持続的成長を実現し、業界内での確固たる地位を確立するため、今般、中期経営計画(2021~2023年度)を策定しました。

Sustainability

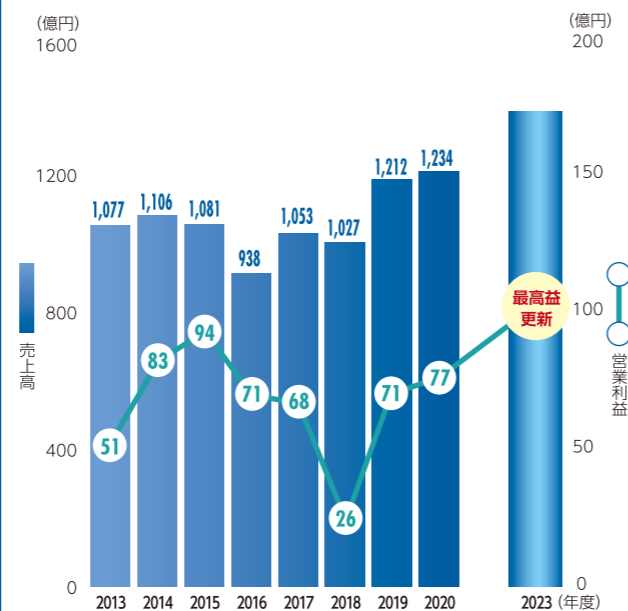
持続的成長を実現していくために
私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス遵守を全ての事業活動の基軸とし、以下を重点施策とします。

- 人材の獲得及び育成
- 本業の拡大
- 新規事業の収益化
- 技術開発の推進
- 安全・環境・品質の向上
- グループ力の強化

経営数値目標

当社の過去最高益(2015年度営業利益)の更新を目指します。

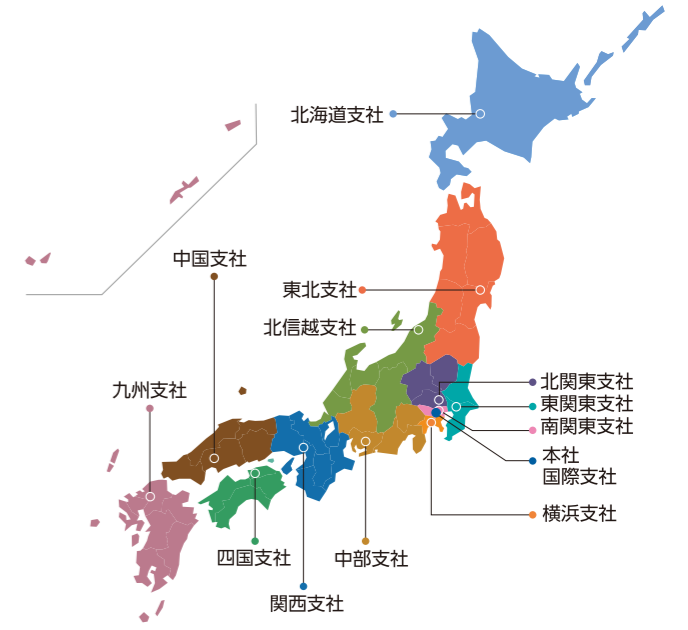


営業所ネットワーク

(2021年11月時点)

本社を中心に支社、営業所、合材工場など、日本全国に200ヶ所以上の拠点を設置。

各種工事の施工、アスファルト合材の製造・販売など、万全の営業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。



本社

技術研究所/機械技術センター/鴻巣研修センター

北海道支社

道北エリア 道北営業所/遠別営業所/弟子屈営業所/道東営業所/道北工事事務所/道東工事事務所/大雪アスコン/遠別合材工場/丹頂アスコン/弟子屈合材工場

道央エリア

道央営業所/ニセコ倶知安営業所/道央工事事務所/札幌中央アスコン

道南エリア

道南営業所/室蘭営業所/日苫営業所/門別営業所/道南工事事務所/日苫工事事務所/函館アスコン/イブリアスコン/洞爺アスコン/苫東アスコン/門別合材工場

東北支社

北東北エリア 岩手営業所/釜石営業所/久慈営業所/青森営業所/三沢営業所/秋田営業所/岩手工事事務所/久慈工事事務所/青森工事事務所/秋田工事事務所/岩手中央アスコン/久慈中央アスコン/秋田アスコン

宮城エリア

宮城営業所/山形営業所/宮城工事事務所/山形工事事務所/仙台東アスコン/山形セントラルアスコン/寒河江合材工場

福島エリア

福島営業所/福島北営業所/いわき営業所/相馬営業所/福島工事事務所/福島北工事事務所/いわき工事事務所/相馬工事事務所/福島県中央アスコン/若松アスコン/福島・県北アスコン/いわきアスコン/相馬アスコン

東関東支社

千葉エリア 千葉営業所/成田営業所/千葉工事事務所/成田工事事務所/房総合材工場/成田アスコン

船橋エリア

船橋営業所/柏営業所/船橋工事事務所/柏工事事務所/トーセキアスコン

茨城エリア

茨城営業所/鹿島営業所/ひたちなか営業所/茨城工事事務所/鹿島工事事務所/ひたちなか工事事務所/石岡合材工場

北関東支社

北関東第一エリア 北関東第一営業所/北首都舗装営業所/栃木営業所/さいたま工事事務所/北首都舗装工事事務所/栃木工事事務所/浦和アスコン/鴻巣上谷環境センター/栃木アスコン

北関東第二エリア

北関東第二営業所/花園営業所/群馬営業所/川越工事事務所/花園工事事務所/群馬工事事務所/花園合材工場

南関東支社

東京エリア 東京営業所/京浜営業所/東京工事事務所/東京青海合材工場/城南島リサイクルセンター/首都圏資材センター

多摩エリア

多摩営業所/多摩工事事務所

横浜支社

横浜エリア 横浜営業所/川崎営業所/横浜工事事務所/相模アスコン/金沢アスコン

北信越支社

北陸エリア 北陸営業所/富山営業所/福井営業所/石川工事事務所/富山工事事務所/加賀アスコン

信越エリア

信越営業所/長野営業所/新潟工事事務所/長野工事事務所/新潟アスコン

中部支社

名古屋エリア 名古屋営業所/名古屋工事事務所/エーシートヨアケ

尾張エリア

尾張営業所/岐阜営業所/尾張工事事務所/小牧合材工場

三重エリア

三重営業所/三重工事事務所/名四アスコン

静岡エリア

浜松営業所/静岡営業所/浜松工事事務所/湖西アスコン/静岡アスコン

関西支社

大阪エリア 大阪営業所/奈良営業所/大阪工事事務所/岸和田合材工場/淀川アスコン

神戸エリア

神戸営業所/神戸工事事務所/せいしんアスコン/姫路アスコン

京阪エリア

京阪営業所/京都営業所/福知山営業所/舞鶴みなと営業所/京阪工事事務所/大阪アスコン/福知山合材工場/舞鶴みなとアスコン/京丹後アスコン/綾部アスコン

中国支社

東中国エリア 岡山営業所/鳥取営業所/東中国工事事務所/津山合材工場/鳥取合材工場

西中国エリア

広島営業所/山口営業所/呉営業所/島根営業所/備後営業所/広島工事事務所/山口工事事務所/広島合材工場/広島アスコン/島根アスコン/防府アスコン

四国支社

四国エリア 香川営業所/愛媛営業所/高知営業所/香川工事事務所/愛媛工事事務所/池田アスコン/脇町アスコン/東予アスコン

九州支社

北部エリア 福岡営業所/大分営業所/佐賀営業所/福岡工事事務所/佐賀工事事務所/玄海アスコン/豊海アスコン/佐賀合材工場/福岡サテライト工場

中南部エリア

熊本営業所/宮崎営業所/鹿児島営業所/熊本工事事務所/鹿児島工事事務所/熊本合材工場/阿蘇合材工場/ひむか合材センター

沖縄エリア

沖縄営業所/沖縄工事事務所/海邦アスコン

国際支社

持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します

Sustainability



代表取締役社長 西田義則

創立60周年を迎えて

2021年6月15日、大成ロテックは創立60周年を迎えました。

これもひとえに多くの皆様のご支援とご愛顧の賜物と、心より感謝申し上げます。

これまでの長い道のりの中、当社は、「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する。」との企業理念を胸に、成長を遂げてまいりました。

これからも、当社は「世のため、人のため」の企業として歩みを止めることなく、皆様のご期待に応え、人の集う魅力ある企業として、未来に向かって持続的成長を遂げてまいります。

中期経営計画(2021-2023年度)の策定について

当社は、「中期経営計画(2021-2023年度)」を策定しました。新たな中期経営計画は、10年後のあるべき姿を実現するための3ヶ年計画と位置づけ、コンプライアンスを全ての事業活動の基軸として以下の取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

基本方針

- 「世のため、人のため」の企業として社会に対する責務を果たすために、企業・経営・行動の各理念に立ち寄り、コンプライアンスを基軸とした事業活動を進一層の精神で強力に推進していく。
- 「名実ともに業界No.1」への道程として、持続的成長を実現することで過去最高利益を更新し、スーパーゼネコン系道路会社で「No.1」となる。

重点施策

- 1 人材の獲得及び育成
「企業は人なり」の実践
- 2 本業の拡大
競争に打ち勝つための戦略
- 3 新規事業の収益化
早期の収益化とカーボンニュートラルに向けた取り組みの推進
- 4 技術開発の推進
将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発
- 5 安全・環境・品質の向上
社会からの信頼の獲得
- 6 グループ力の強化
最強のグループ構築

本業と新たな挑戦

現在、当社は、コンプライアンス遵守を事業活動の基軸とし、未来に向けて前進しています。

本業の「進化」と「深化」とともに、新たな挑戦への機運も高まり、本業である舗装土木の周辺事業としての建築事業、カーボンニュートラルに貢献する中小水力発電事業、中国およびベトナムを中心とした海外事業、そして脱炭素社会の実現に向けた新技術・新材料の開発など、新たな取り組みにも果敢に挑戦しています。

また、働き方改革を推進するためには生産性の向上が必須となることから、自動化・無人化の施工工法・機械の開発など、ICTを活用することで施工の効率化を図るとともに、三次元モデルを活用したBIM/CIMの促進により、生産現場におけるDXを進めてまいります。

その先の未来へ

新たに定めた「中期経営計画(2021~2023年度)」を確実に実行し、その目標達成に努め、「名実ともに業界No.1」を目指します。

10年、そしてその先の未来を見据えた成長の足掛かりとするため、大変革の時代であった明治の近代化に功績を残した創業者大倉喜八郎翁の「責任と信用」「進一層」を胸に役職員一丸となり持続的成長を遂げてまいります。

東日本大震災の復興支援道路開通 に貢献

国道106号 新区界トンネル舗装工事

■工事概要

発注者：国土交通省 東北地方整備局
 工期：2019年1月18日～2021年3月26日
 主要工種：連続鉄筋Co舗装68,000㎡
 排水構造物工13,000㎡
 剛性防護柵工6,600㎡
 トンネル電気室

本工事は東日本大震災の早期復興のリーディングプロジェクトとして国土交通省が中心に進める復興支援道路「宮古盛岡横断道路(66km)」を構成する地域高規格道路「区界道路・平津戸松草道路」のうち、新区界トンネル(4,998m)、与部沢トンネル(1,039m)、岩井第一トンネル(682m)の3つのトンネルの連続鉄筋コンクリート舗装(スリップフォーム工法)を主とした工事です。

ICT(情報通信技術)を全面的に活用し施工の効率化・省力化を実現。また、厳寒期でのコンクリート舗装の品質・出来形向上、早期開通のための工程管理などに注力し工事を完成させたことにより、発注者から高い評価を受け、東北地方整備局長表彰を受賞しました。



ICT活用による生産性向上

本工事は、ICT活用工事(舗装工)の対象であり、MC(マシンコントロール)による路盤施工、地上型レーザースキャナを用いた出来形管理を実施し、施工管理の効率化・省力化を図りました。

また、トンネル内全域で通信可能なWi-Fiエリアを構築することで、IP電話やタブレット端末での連絡、Webカメラ設置による現場状況確認などが可能となり、坑内との迅速な連絡体制を確立しました。

開通に向けた工程管理

新区界トンネルでは、前工事の遅れにより引渡しが延びたことから、工程の見直しや人員・機械・資材などの調整・確保などの工夫を行いました。

また、「復興支援道路の早期開通」に向け、発注者からの追加工事(新区界トンネル電気室・与部沢トンネル・岩井第一トンネル)の要請に応じ、発注者をはじめ協力業者、トンネル内設備業者との工程調整に注力して工事を完成させ、無事開通を迎えました。

厳寒期のコンクリート施工——高品質への挑戦

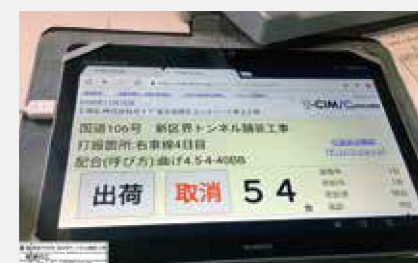
本工事には二つの大きな課題がありました。一つ目は、新区界トンネルがある宮古市区界地域は東北有数の厳寒地で、冬場は平均気温でも氷点下になるという点です。コンクリート打設時に凍害が発生すると劣化しやすいコンクリートになってしまいます。

そこで、寒中対策としてトンネル内の温度低下を抑制するため坑口に遮風カーテンを設置するとともに、温風機(ジェットファーン)を用いた給熱養生を行い、乾燥対策として湿潤状態に見える化する吸水変色型養生マットを活用した湿潤養生も徹底するなど、創意工夫によりコンクリートの品質を確保しました。



遮風カーテン

二つ目はトンネル内の連続鉄筋コンクリート舗装(CRPC)は中間層がなく縦断勾配が4%(新区界トンネル)と急であったため、平坦性の確保が難しいこと。MCによる施工で路盤の平坦性を確保し、さらにコンクリート舗装は縦断摺り付け機能を備えたMCによるスリップフォーム工法で施工しました。また、「it-Concrete」により、品質の安定化や連続した施工を可能にし出来形精度向上を目指しました。その結果、規格値が標準偏差 $\sigma=2.4\text{mm}$ 以下に対し、全工区平均で $\sigma=0.89\text{mm}$ と優れた平坦性を確保できました。



it-Concrete



現場代理人 中根 章貴

2年という長期間に渡る工事に、協力業者80社、延べ18,000人が従事しました。北海道出身の私でも経験したことがないような厳しい気象条件の中、最後まで無事故・無災害で終われたことを、全員が大変うれしく、そして誇りに思っております。



監理技術者 野村 哲也

WTO対象工事2件の震災復興関連工事を経験でき、自分自身も大きく成長できたと思います。特に、当現場では、最低気温が -20°C 付近での寒冷期施工も本社・支社の支援体制のおかげで、高品質を確保し、現場を完了でき感謝申し上げます。

■当社が手掛けた東北での震災復興道路工事

路線名/工事名	延長(km)	開通年月日
三陸沿岸道路(計画延長359km)		
太田名部北地区舗装工事	0.98	2013.10.13
国道45号 吉浜道路舗装工事	3.6	2015.11.29
小船越地区舗装工事	1.9	2017.03.30
国道45号 田老岩泉地区舗装工事	7.2	2018.03.21
松崎地区舗装工事	1.0	2018.03.25
国道45号 唐丹地区舗装工事	3.5	2019.03.09
夏井地区舗装工事	1.5	2020.03.01
松崎北沢地区舗装工事	0.7	2020.02.24
国道45号 尾肝要普代北地区舗装工事	4.1	2020.12.19
浪板地区舗装工事	1.48	2021.03.06
菅窪中地区舗装工事	1.27	2021.07.10
玉川野田地区舗装工事	1.22	2021.12.予定
宮古盛岡横断道路(計画延長66km)		
国道106号新区界トンネル舗装工事	6.7	2021.03.28
古田地区舗装工事	1.2	2020.03.30
東北横断自動車道釜石秋田線(花巻～釜石)計画延長80km		
新里地区改良舗装工事	2.13	2015.12.05
新里地区改良舗装工事	2.09	2019.03.03
東北中央自動車道(相馬～福島)計画延長45km		
腰巡トンネル舗装工事	0.97	2018.03.10
伊達地区トンネル舗装工事	1.1	2021.04.24
東北自動車道 福島管内舗装補修工事 桑折JCT		2020.08.02



出典:国土交通省東北地方整備局道路部 3.11復興道路・復興支援道路 情報サイトより

大成ロテックの強み「技術力」が新たな可能性を実現し、SDGsの達成に貢献していきます。

長年培ってきた技術力とノウハウにより誕生した多彩な新技術・工法が、環境の保全・資源の有効利用などSDGs達成の一翼を担っています。

研究開発の拠点 技術研究所

持続可能な社会の実現を目指し、新たな技術開発・研究と研鑽を重ねています。

技術研究所では、さまざまな分野の技術と連携や融合を図り、社会的に求められているカーボンニュートラルの実現へ向けた技術開発や、舗装の長寿命化を目指した技術、再生可能エネルギーを創出する舗装技術など、国民生活の利便性の向上や安全・安心の確保に貢献できるよう所員一丸となって活動しています。



路面騒音の抑制

排水性・透水性舗装「ポーラスペーブ」

連続した空隙を有するポーラスアスファルト混合物が、タイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制する舗装です。

PRMS多機能工法

排水性舗装の表面の空隙部に弾性レジンモルタルを充填する工法。弾性モルタルがタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。

ヒートアイランド対策

保水性舗装「クールロード」

ポーラスアスファルト舗装の空隙に充填した特殊なセメントグラウトが水を蓄え、その蓄えられた水が蒸発する際に路面温度の上昇を抑制する舗装です。

遮熱性舗装「クールウェイ」

太陽光のうち、物体の温度を上げる“近赤外線”を効率良く反射する特殊な塗料“遮熱性塗料”を舗装の表面に塗布した舗装で路面温度の上昇を抑制します。

維持・修繕

リラクスファルトHT舗装

変形追従性(たわみ性)や応力緩和性、塑性変形抵抗性を改良した特殊改質アスファルト混合物を用いて、ひび割れとわだち掘れの発生を抑制する長寿命化舗装で、維持管理におけるコストダウンを図ることができます。



ワンダーコーティングシステム

構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システム。構造物へ常温での塗装が可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。

ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線等から守り、構造物の寿命を延ばし、メンテナンスを容易にします。劣化の防止、外観の長期維持、および汚れを簡単に除去できる機能を持つガラスコーティング技術です。

〈施工前〉



〈施工後〉



快適な歩行空間の創造

ウッドファイバー舗装

間伐材を再利用し、クッション性が高く自然に調和する舗装です。

ソフトウォーク

リサイクルゴムチップを用いた舗装。透水性と適度なクッション性を有し、歩径路やジョギングコースの舗装に適しています。



防災

地下貯留工法

公園や駐車場などの地下に貯留槽を構築する工法。都市部のゲリラ豪雨など、短い時間で降った大量の雨を一時的に貯留することで、道路等の冠水の発生を抑制します。

スーパーフレックスファルト

アスファルト表面遮水壁に使用する、たわみ性に優れた耐震性の高い特殊なアスファルト混合物。地震時の急激な堤体の変形にも追従し、アスファルト遮水壁表面のひび割れの発生を抑制します。

景観舗装

インジェクト工法

大型車が走行しても破損しない、耐久性抜群の自然石舗装の構築工法。歩車道一体の石畳の景観舗装を可能とします。最初の施工場所は定期バスや大型観光バスが走行する路線で、供用開始から20年を超えましたが、良好な供用性を維持しています。

景観舗装として、駅前広場や商店街、神社仏閣など全国各地で多くの実績があります。



JR東京駅丸の内駅前広場



出雲大社前

TNC自然色舗装

脱色アスファルトを用いて、天然の骨材が持つ自然な色彩をそのままに、さまざまな情景にマッチする自然色舗装です。

エクセレントソイル

土本来の自然な風合いとともに、適度な弾力性、衝撃吸収性を備えた歩道用の土系舗装です。

常温合材

TRミックスアックア

全天候型高耐久常温アスファルト混合物。水で固まるアスファルト常温合材で、軽交通から交通量の多い道路の補修にも使用できます。敷きならし後に散水することで硬化反応が開始し、およそ30分後には交通開放が可能です。



脱炭素社会の実現に向けて



製品事業本部ではアスファルト合材の製造・販売および建設廃材の中間処理業を中心に事業を行っております。

主要製品であるアスファルト合材は150度を超える高温での製造となり、骨材の乾燥加熱を行う際に大きな熱量(重油・灯油・ガス)が必要となります。加えて工場では動力として電力を使用しており、製品製造には大きなエネルギーを消費します。これらのエネルギー消費の削減はもちろん、世界的に重要視されている脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

脱炭素社会に向けたこれまでの取り組み

従来の製品製造過程の効率化などによるエネルギー消費の低減に加え、大きな変換点として加熱燃料のガス化があります。使用燃料をガス化することによりCO₂排出量の削減を目指すものです。

都市ガスへの転換は東京青海、浦和、福岡の3工場にて実施しました。

LPガスへの転換は2018年の京都の福知山工場に始まり、2020年に舞鶴工場、2021年には新設の山形工場に導入しております。

今後も全国各地の工場において燃料の転換を進めており、脱炭素へ向けた取り組みを継続してまいります。



舞鶴みなとアスコン



福知山工場LPG施設



山形工場LPG施設

脱炭素社会実現のための今後の取り組み

- ガス化、バイオマスなどの代替燃料への転換
「将来的にはアンモニア・水素バーナ等の代替燃料導入によりプラントのCO₂排出量ゼロへ」
- 再生可能エネルギーの採用(例:太陽光発電)
- 高効率機械装置による省エネ化(工場建替、設備更新)

TRタフペイブ

超重交通・重荷重が作用する箇所へ適用可能な高耐久アスファルト混合物

物流拠点や資材置き場、コンテナヤードなどの舗装は、わだち掘れや油漏れなどによるポットホールが発生しやすいため、半たわみ性舗装などのセメント系の材料を使用した舗装が用いられる場合があります。しかし、セメント系材料を使用した舗装は、セメント系の固化材が硬化するまで車両などを通行させることができず、運用中の施設では業務に支障をきたす場合があります。

TRタフペイブは、半たわみ性舗装と同等の耐久性を有し、一般的なアスファルト舗装と同様に製造・施工することができます。施工後はただちに車両を通行させることができるため、工事に伴う規制の影響を最小限に抑えることができます。



TRタフペイブ構内舗装の施工



カーボンニュートラルの実現に向けた技術開発

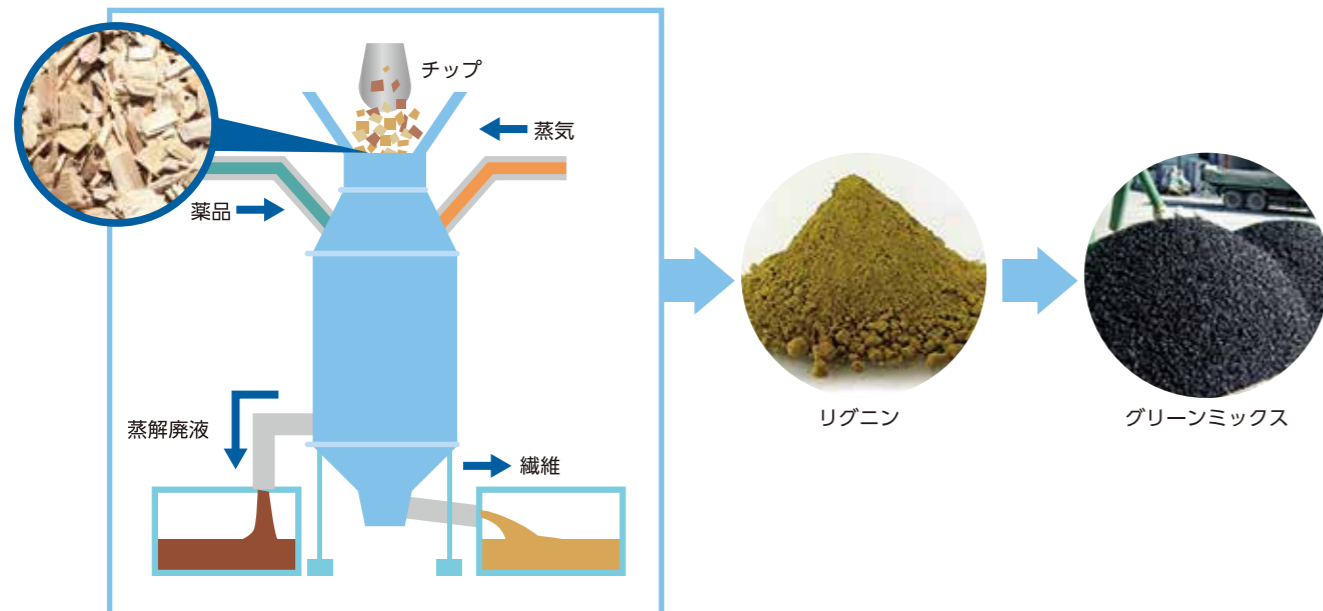
グリーンミックス

カーボンニュートラル・カーボンネガティブを目指した舗装用材料の開発

石油アスファルトは原油から生成されます。また、アスファルト混合物の製造時には重油や灯油などの化石燃料を燃焼させて材料を加熱します。

技術研究所では、カーボンニュートラル、さらにカーボンネガティブの実現に向け、製紙工程で副産物として排出される「リグ

ニン」という植物由来の樹脂をアスファルト混合物に用いたグリーンミックスの実用化に関する研究や、合材工場などから排出されるCO₂を回収して化学反応により燃料化したカーボンリサイクル燃料、太陽光発電などの再生可能エネルギーを合材工場などで利用する技術の研究をしています。



コーポレートガバナンスを強化し、企業価値の向上へ

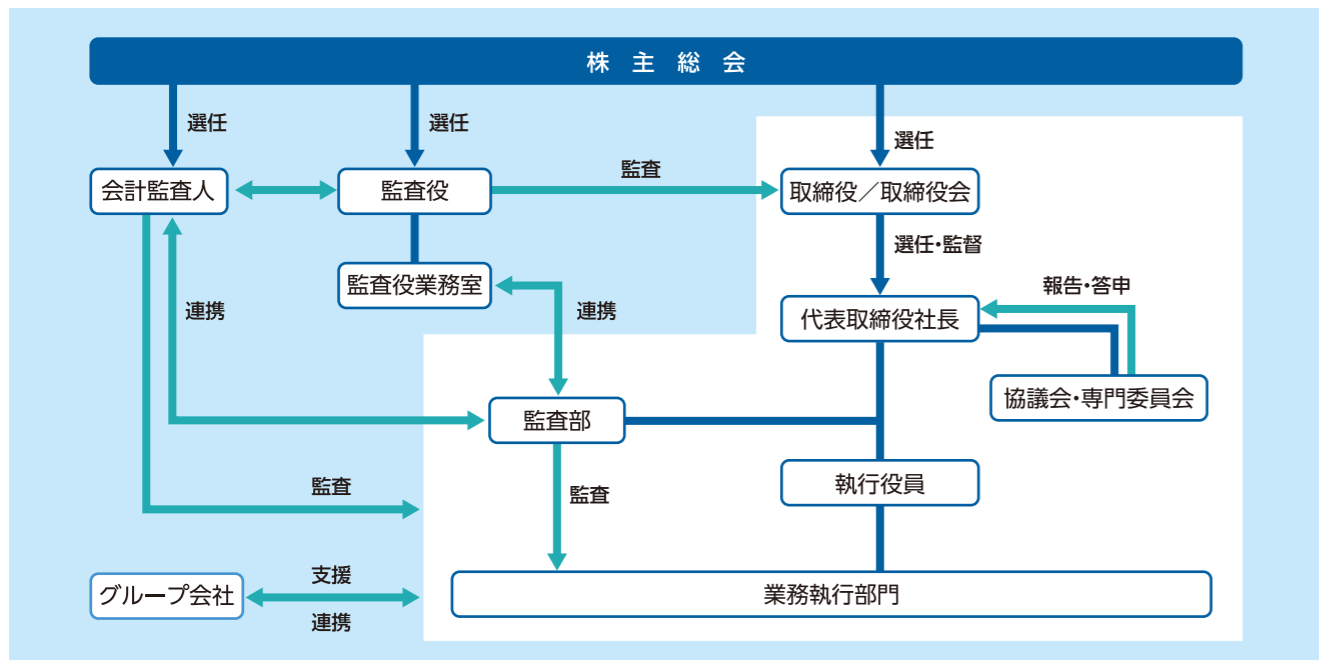
企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会(社外取締役を含む)は、経営上の重要事項の決定と

業務執行の監督を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

■コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進し、社会から信頼される企業となるため、法令等の遵守や公正な取引の確保等を図っています。

また、今年度は昨年度に引き続き、「法務コンプライアンス部」および「監査部」を中心に、一連の独占禁止法違反事件を受けて策定した再発防止策に関するフォローを重点的に行い、関係各部門と連携することにより、再発防止策のさらなる徹底を図っています。



コンプライアンス研修の様子

具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスを徹底させるために、毎年、全国の工事事務所・合材工場などにおいてコンプライアンス研修を開催しています。研修テーマとして、独占禁止法および建設業法遵守の再徹底や事例説明に加え、注意すべき事案の水平展開を行うとともに、本年度は職場単位でコンプライアンス課題を話し合う「グループ討議」を行うなど、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- 2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しております。建設業法・ハラスメント・環境問題・労働関連など毎回テーマを変え、月に1回を目途に配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規程「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」の通り、毎年入札業務の監査を行っています。

情報セキュリティ対策

情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性を得た反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情

報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内でも運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を受け、移行が完了しています。第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社の持続的な成長に繋がっています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年度にCOHSMIに基づく外部の認証登録を受けました。

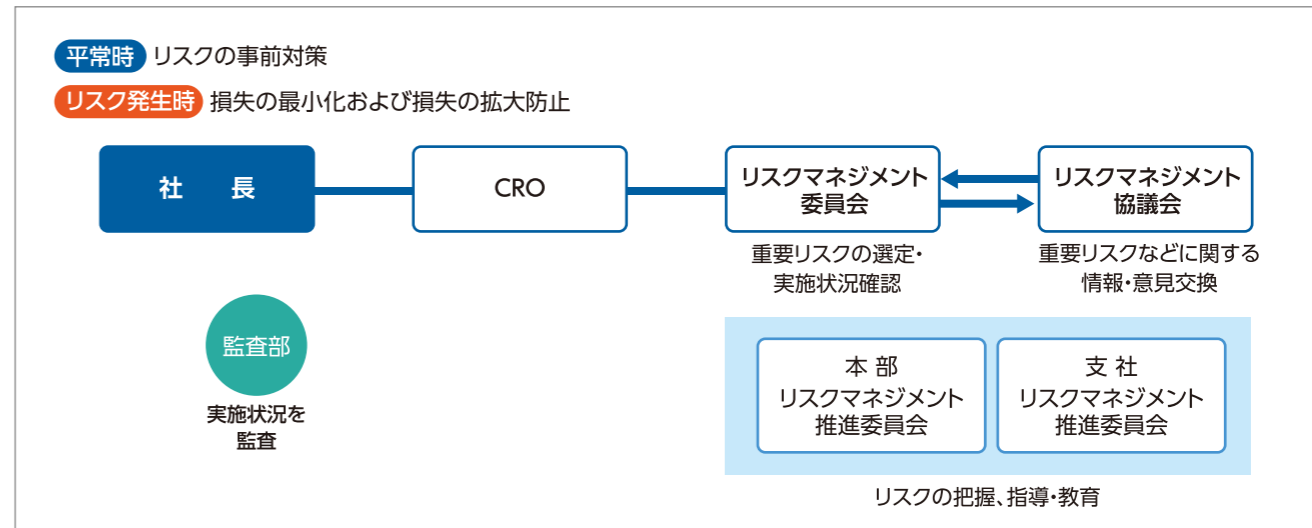


リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモ

ニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

■リスクマネジメント実施体制



ダイバーシティ&インクルージョンの推進へ

人権の尊重

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。

人権啓発協議会

〈目的〉

- 1 同和問題をはじめ、社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- 2 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- 3 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

〈活動方針〉

- 1 「人権は本来持っている権利であり、全ての人々が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利」であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- 2 同和問題、障がい者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成を図る。

働き方改革の推進

長時間労働の是正

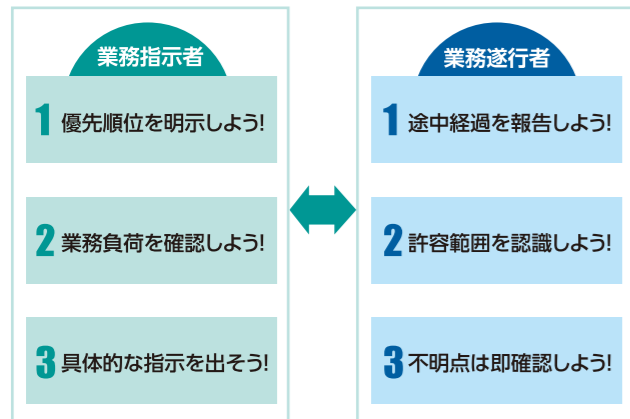
2018年10月にPC(パソコン)のシャットダウンシステムを導入し、PCを19時に強制的にシャットダウンすることで、自主的な退勤を促す意識改革の取り組みを始めました。

2020年9月に、無駄な移動時間の削減等を目的に、社員が自らの選択で用務先への直行直帰ができるよう、全社共通ルールを定め、運用を開始しました。

さらに同年11月には、移動時間のさらなる軽減を目的として、自宅や工事事務所から現場への移動に1時間30分以上かかる場合は、現場近隣の宿泊施設等を利用することとしました。

また、社内コミュニケーション活性化の取組みとして、「3C活動(3つのCommunication)」を行っています。

3C活動 — 3つのCommunication



週休二日制の実現

2019年度～2020年度は4週6休、2021年度～2022年度は4週7休、2022年度～2023年度は4週8休とする目標を掲げ、その実現を目指しています。

有給休暇平均取得日数(2020年度) **8.6日**

働き方改革の動き

2019

- 【2月】 ◎働き方改革実行計画に向けた方策として、ロードマップの社内公開
- 【3月】 ◎介護相談窓口の設置
- 【4月】 ◎時間有給の導入
 - ◎年5日の有給休暇取得義務化に従い、「計画休」の設置
 - ◎製品部門の時間外労働の上限規則開始
 - ◎次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画(第5期)
- 【10月】 ◎男性の育児休業取得の促進 ▶ 導入キャンペーンの実施
 - ◎配偶者出産休暇の導入
 - ◎時短勤務の選択肢の多様化(7時間勤務の追加)
 - ◎短日勤務の選択肢の追加(週3、4日)

2020

- 【4月】 ◎新入社員の完全土日休日の通知の配信
 - ◎在宅勤務(テレワーク)の試行実施
- 【9月】 ◎直行直帰制度統一運用開始
- 【11月】 ◎産業医面談にWeb面談を導入

2021

- 【1月】 ◎介護・看護休業既定の改訂(時間単位の取得)
- 【4月】 ◎女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画(第2期)

ダイバーシティの推進

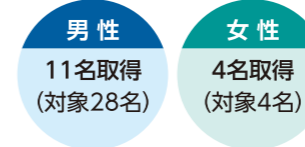
多様な人材が活躍できる働きやすい会社を目指して

女性、外国人、障がい者などの「多様性のある人材活用」や、就業時間の選択制などの「多様性のある働き方」の推進を行っています。2021年4月には「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」を新たに策定し、3年以内に時間外労働(休日労働含む)を月平均45時間以内とする目標をたて、男女ともに働きやすい会社を目指しています。

仕事と子育ての両立

社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかわる休業・休暇制度の整備をしています。育児休業5日間を有給化し、男性社員の育児休業取得率100%を目指して取り組みを推進しています。

育児休業取得者数(2020年度)



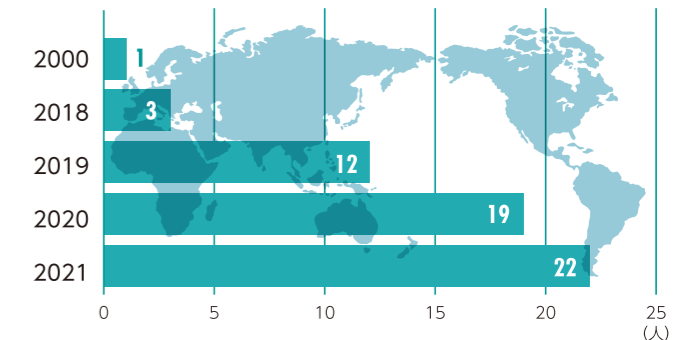
障がい者雇用率の達成

障がい者雇用を積極的に推進し、法定雇用率(2.3%)の達成を実現しています。

外国籍従業員の採用

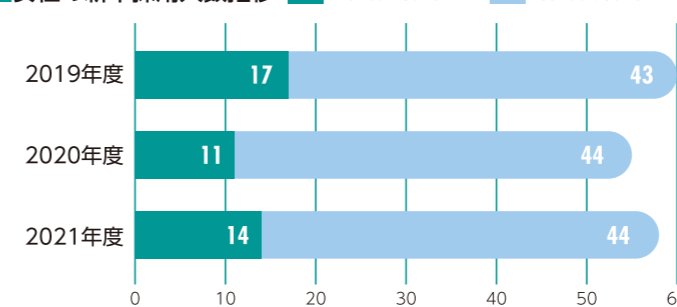
当社では、外国籍の社員も活躍しています。今後も積極的に採用を行い、多様な人材の活躍を推進していきます。

外国籍社員在籍人数推移



女性のさらなる活躍を推進

女性の新卒採用人数推移



当社初の女性合材工場長就任

2019年4月1日付で九州支社佐賀合材工場に女性の工場長が就任し、活躍しています。

女性社員研修会の実施

本社および各支社にて、女性社員を対象とした「ビジネスマナー研修」などの各種研修を実施しています。今後も女性社員の研修や意見交換会を随時開催し、女性の働きやすい職場づくりに努めていきます。

人材啓発活動

新入社員研修に始まり、階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う感染防止対策として、WEBでのオンライン研修も行ってまいります。



●スキルアップ研修・部門別専門研修

※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数の研修を実施しています。

1年次～	3年次～	30代～	40代～
<ul style="list-style-type: none"> ◎新入社員研修 ◎新入社員フォローアップ研修 ◎基礎技術(2年次)研修 ◎機械担当者(初級)研修 ◎品質管理担当者(新規)研修 ◎CAD研修 ◎営業基礎研修 ◎合材工場営業担当者研修 ◎法務研修 ◎2級土木受験対策研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◎技術(3年次)研修 ◎工事担当者(初級)研修 ◎工事担当者(6年次)研修・プレゼン研修 ◎中級品質管理担当者研修 ◎合材工場機械担当者研修 ◎エンジニアリングレベルアップ研修 ◎情報化施工(ICT)研修 ◎原価管理研修 ◎1級土木受験対策研修 ◎1級舗装受験対策研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新任係長研修 ◎国際研修 ◎工事担当者(上級)研修 ◎現場代理人研修 ◎情報化機械施工研修 ◎上級品質管理担当者研修 ◎建築社員スキルアップ研修 ◎PFI事業関連研修 ◎ビジネス法務研修 ◎舗装診断士受験対策研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新任課長格・プレゼン研修 ◎マネジメント研修 ◎部長格研修 ◎工事担当者能力向上研修 ◎新任工事事務所長研修 ◎新任工場長研修 ◎新任営業所長研修 ◎営業活動の強化研修 ◎建設業界用マーケティング実践研修

より充実した研修のために

鴻巣研修センター リニューアル

鴻巣研修センターがリニューアルされ、宿泊室が全室完全個室となり研修生のプライベート空間が確保されました。

ウェルネススペースは用途に合わせて「アクティブゾーン」「リラックスゾーン」「スタディゾーン」の3つに分かれており、舗装会社であることを意識して、モルタル調の床や人工芝など外構を想起させるデザインに統一しています。



成果を共有し、明日のチカラへ



社長・本部長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの向上意欲を図っています。



テクノフォーラム2020開催

10月8日、「テクノフォーラム2020」が開催されました。第1回目となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年の開催となりました。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策として発表者のみ本社に集まり、聴講はTV会議システムを利用した開催となりました。発表は東北支社の『平泉中尊寺通りにおけるインジェクト工法の損傷事例および施工報告』など15編でした。成功した取り組みだけでなく、うまくいかなかった事例の発表もあり、原因と対策を水平展開することで、今後の品質トラブルの防止や収益力向上に結びつく有益な発表会となりました。



T E C H N O F O R U M

地域の一員として、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます

南関東支社

現場周辺の清掃活動

「新東名高速道路 伊勢原北IC～秦野IC間舗装工事」工事事務所の周辺の美化を目的に職員による清掃活動を行いました。



中国支社

平和大通りの清掃活動

平和大通りおよび側道の歩道部約150m区間で清掃活動を行いました。平和記念式典前ということもあり、人々が快適に歩道を使用してもらいたいことから、美化活動に努めました。



北海道支社

安全・快適な使用へ

施設を利用する生徒さんをはじめとした地域のみなさんに気持ちよく使用してほしいとの思いから、近隣公立学校の施設整備を行いました。

TOPICS

大成ロテック創立60周年記念サイトを開設

2021年6月

当社ホームページに60周年記念サイトを開設しました。未来を担う若手社員と西田社長のスペシャル対談のほか、創立60周年記念ムービー「Road to the Future～未来の道へ～」を公開しました。

<https://taiseirotec-60th.com/>



東日本大震災特別企画

映像アーカイブ事業の第1号認定

2021年6月

「3.11伝承ロード推進機構」は、東日本大震災から10年の節目を迎えた特別企画として、「映像アーカイブ事業」をスタートしました。登録第1号認定作品として、福島第1原発近くを通る国道6号の啓開作業に当たった当社の「第二の水素爆発を防げ」が選ばれ、認定証を授与されました。



登録第1号認定作品(大成ロテック):「第二の水素爆発を防げ」【YouTube】

徹底した安全衛生管理が、確かな品質と信頼へ

安全衛生マネジメントシステム

当社は2018年11月28日に建設業労働安全衛生マネジメントシステム(NEW COHSMS)が全社で認定されました。
2021年1月1日に安全衛生管理標準の改訂版を発行し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害、交通事故の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

2021年安全目標

- 死亡災害及び重篤な災害の根絶
- 社会的影響の大きな公衆災害の撲滅
- 環境トラブル・過積載事案の撲滅
- 度数率 **0.5**以下(休業1日以上)

0 ゼロ

● 交通人身事故

度数率 = $\frac{\text{休業1日以上の労働災害による死傷者数}}{\text{延べ労働時間}} \times 1,000,000$ (小数点3位以下は四捨五入)

工事部門における重点管理項目

重機車両に関連した災害の防止

- 1 立入禁止措置と重機の安全補助装置の設置活用
- 2 誘導者の配置
- 3 オペレーター、作業員への教育指導(作業手順、KY活動、安全巡視)

架空線、地下埋設物の損傷事故防止

- 1 管理者の立合いと事前の確認調査
- 2 目印表示等の設置と現場内の周知
- 3 作業手順と現地KY活動による事故防止

火災事故防止

- 1 工事検討会における可燃物近接加熱作業の特定
- 2 火災事故防止への具体策

安全管理向上のための教育の充実

- 1 安全衛生環境教育の充実
- 2 工事検討会での安全品質管理の検討
- 3 作業員に対する安全教育の充実

働き方改革と健康障害の防止

- 1 時間外労働の削減と休日取得
- 2 特定業務従事者健康診断の受診

建築部門における重点管理項目

墜落災害防止の撲滅

- 1 墜落制止用器具(フルハーネス型、胴ベルト型)着用及び使用の周知・指導の徹底
- 2 足場の検討会実施・点検の実施

建設機械等の稼働に関連した災害の防止

- 1 安全補助装置の利用促進
- 2 誘導員又は、見張り員の配置
- 3 作業員、ダンプ運転手に対する作業方法の周知

地下埋設物の損傷

- 1 磁気探査による事前確認、人力試掘の実施
- 2 目印表示等の設置、作業員への周知

安全意識向上のための教育の充実

- 1 安全衛生環境教育の充実
- 2 工事事務所等の週間工程会議の充実
- 3 作業員に対する安全教育の充実

働き方改革と健康障害の防止

- 1 休日取得の推進及び時間外労働の削減
- 2 工事事務所における業務量の低減

製品事業部門における重点管理項目

工場機械設備災害の撲滅

- 1 機械設備動力可動部には、安全カバー等による挟まれ・巻き込まれ防止措置を徹底する。
- 2 高所における墜落制止用器具の完全着用と使用、および点検指導を徹底する。
- 3 繰り返し型災害の再発防止に向け、重点危険箇所の立入禁止措置を徹底する。

重機および車両事故の防止

- 1 重機作業エリアの区分けにより人と機械の分離を実施し、やむを得ず立ち入る場合は重機を停止させる。
- 2 設備内清掃作業に重機を使用する際はヘッドガード付きの機種を使用し、立入禁止措置を確実に実施する。また狭隘部での作業は人力作業とする。
- 3 重機作業区域への立入禁止措置の徹底と、「接触防止センサー」の取付徹底によるダブルセーフティを実施する。
- 4 ダンプ荷台シート脱着時における転落事故防止対策について作業手順の作成と運転者に対する周知を徹底する。

本・支社幹部のパトロール強化

- 1 支社ごとに重点管理工場を指定し、重点的にパトロールを実施する。
- 2 パトロール時には、当日の「作業打合書・安全指導書」と「重機作業計画書」の確認を行い、作業が計画どおりに行われているかの点検と安全管理状況の点検を実施する。

安全意識向上のための教育の実施

- 1 本・支社幹部は、社員及び協力会社職長へ安全衛生環境教育を実施し、管理能力の向上を図る。
- 2 機械整備・点検・清掃・メンテナンス等作業における作業手順書の作成および周知の徹底と、一人作業禁止(点検を除く)ルールを遵守させる。
- 3 過積載の撲滅にあたり、環境法令や道交法等の知識を深める教育を強化する。
- 4 ダンプ荷台上からの転落防止に関する教育を定期的に行い、運転者の意識向上を図る。

交通ルールの遵守

- 1 すべてのダンプに最大積載量の表示を行うとともに、工場内に過積載禁止看板を設置し、「見える化」による過積載撲滅をはかる。
- 2 資材運搬車両等に対し、工場内ルールおよび現場内ルールを周知徹底し遵守させる。

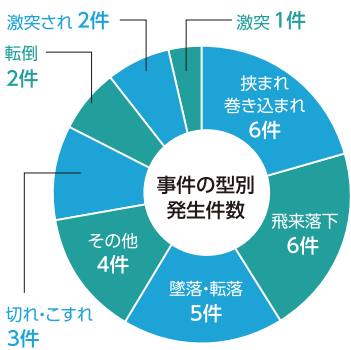
働き方改革と作業環境の整備

- 1 従業員の出勤管理の徹底と4週6休以上の休日取得を推進し年720時間以下の時間外労働を目標とする。
- 2 試験室及び騒音振動粉塵発生場所における作業環境の改善を進める。

2020年の事故・災害発生状況 総括

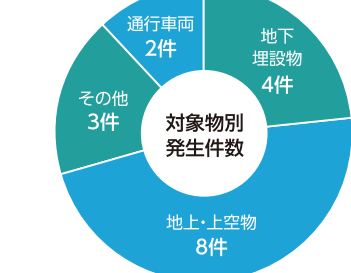
【労働災害】

工事で発生した労働災害は24件、合材工場で発生した労働災害は5件でした。『挟まれ・巻き込まれ』『飛来・落下』が多発しました。また、『飛来・落下』のほとんどは重量物が手足に落下した繰り返し型の災害です。



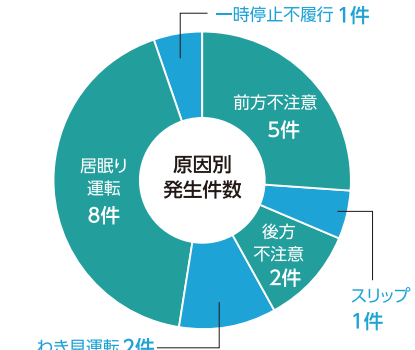
【公衆災害】

人身事故は発生しませんでした。(前年1件、前々年0件)
物損事故は17件(前年30件、前々年20件)発生しました。地上・上空物の事故が約半数を占めました



【交通事故】

交通事故は19件でした。(前年27件、前々年24件)
交通事故件数は減少しました。『前方不注意』『居眠り運転』による交通事故が多発し、この2つの原因で全発生件数の68.4%でした。



パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施して事故災害の撲滅に努めています。

社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



新型コロナウイルス感染症対策でリモートによる社長パトロールも併せて実施しました。



本社安全環境部によるパトロール

安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境部が随時行う現場や工場のパトロールです。
このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき安全だけでなく、当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡視を行っています。

支社、工事事務所によるパトロール

支社長をはじめとする支社幹部や工事事務所長によってパトロール計画に則り定期的に行われる安全パトロールです。

事業主パトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上行われる安全パトロールです。



協力会社との係わり

職長教育について

建設業の担い手不足は業界が抱えている問題です。
当社は正会員協力会社に所属する職長の施工管理能力と積算能力、生産性・利益向上を目的として、全国で職長の教育を実施しています。



マイスター職長制度について

当社の施工現場において労働災害防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題です。そのためには協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。

「大成ロテックマイスター職長制度」は、優秀な職長を当社の施工現場に確保すると共に技術・技能を継承するために優良技能者報酬制度として2016年に定めたものです。



マイスター職長に認定された方のヘルメットに貼るステッカー

マイスター職長の認定条件

- 1 安全衛生環境協会正会員の協力会社に所属し、当該会社に5年以上勤務している「現場施工に直接かわる職長」で災害防止活動、職長会活動、職場(現場)環境改善、品質の向上・確保に積極的に協力し作業指揮等の能力が高く、実績・貢献度などが総合的に優秀な者。
- 2 認定基準
 - 1 協力会社の正会員の社員で該会社に5年以上勤務している者。
 - 2 工事部主催の「職長への教育」を1回以上受講し成績が優秀な者。
 - 3 職長・安責者教育終了後、5年以上現場に携わった者。
 - 4 能力向上教育修了者。
 - 5 新CFT又は、RST資格保持者であり協力会社に職長教育が実施できる者。
 - 6 特別教育インストラクター資格取得に意欲がある者。
 - 7 認定時に、新CFT又はRST資格を保有していないが、認定後1年以内に新CFT又はRST資格を取得できる者。
- 3 スーパーマイスター
マイスター職長として3年間以上施工現場に従事し、直近3年間の平均就労日数が年間100日以上で本人及び指揮下の作業員が無事故・無災害であり実績・貢献度などが特に優秀な者。

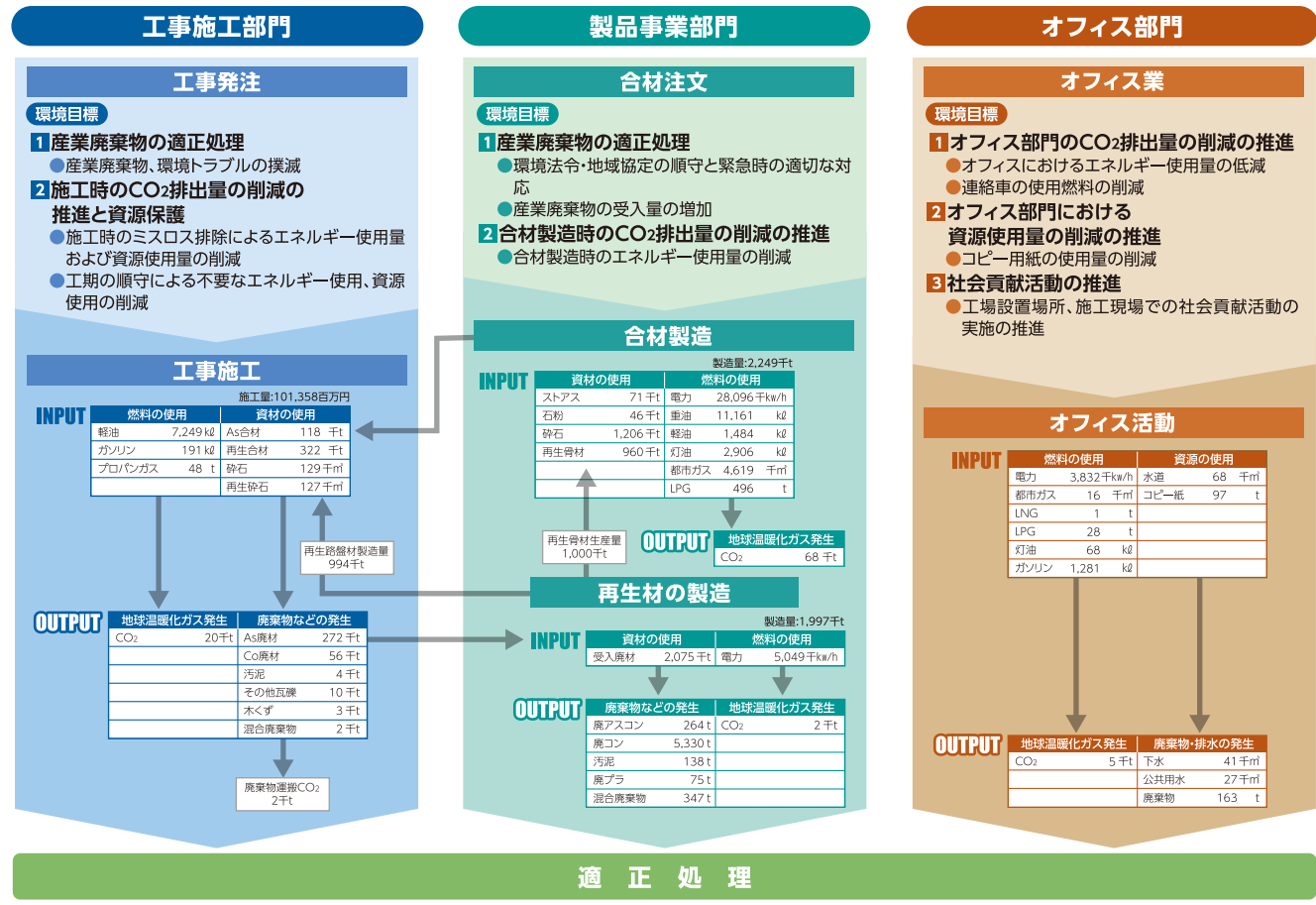
※以下のいずれかに該当する場合は、認定から除外する。

- (1) 68歳に到達した者。
- (2) 過去1年間に当社施工現場にて重大な公衆災害並びに休業4日以上の労働災害を発生させた協力会社に所属する者。(重大な公衆災害については、事故発生後当社が判断する。)

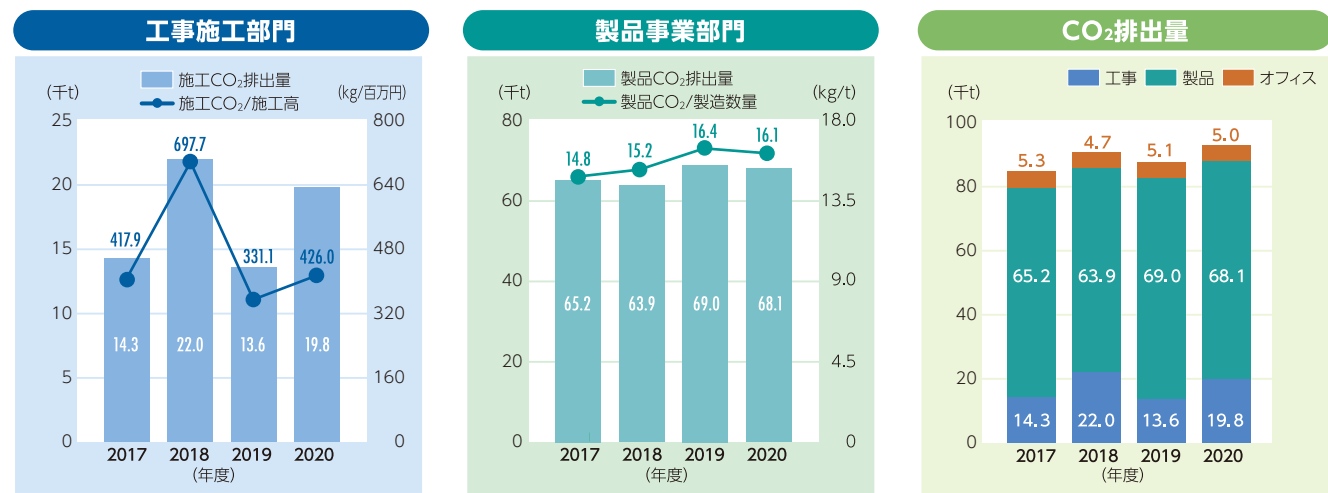
未来の地球のために今できること

環境負荷物質の排出と削減状況

舗装工事現場から排出されるアスファルトやコンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量を削減しています。さらに、日々の業務においても、CO₂排出量削減に向けた取り組みを行っています。



CO₂排出量削減への取り組み



工事施工高が増加したことにより機械の稼働台数が増え、CO₂総排出量及び百万円当たりのCO₂排出量も増加しました。

生産量は対前値比若干減少し、それに伴いCO₂総排出量も若干減少しました。しかし、製品製造1tあたりのCO₂排出量は約2%減少しました。

政府はCO₂排出量を2030年度に2013年度比46%減の目標を掲げています。当社もCO₂排出量の削減のために積極的に対策を講じていきます。

2020年度 工事実績

大成ロテックでは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。2020年度に携わった代表的なプロジェクトをご紹介します。

東京国際空港 A滑走路他舗装改良等工事

発注者 国土交通省 関東地方整備局
竣工日 2020年4月16日
工事概要

舗装工(暫定開放)	65,000㎡
舗装工(完成時)	86,000㎡
航空灯火配管	7,200㎡
グリーンピング工	53,000㎡



東京国際空港(羽田空港)では、首都圏空港の機能強化および2020年に開催予定であったオリンピックに対応するため、飛行経路の変更対応(北側進入ルート)を含むA滑走路の大規模な改良工事が行われました。本工事はこのプロジェクトの一端を担い、A滑走路の一部(約1km/全長3km)のAS舗装打換と北側進入に対応するための航空灯火施設の設置を行ったものです。



現場代理人 早川 徹
 滑走路および誘導路の閉鎖を伴う工事であり、閉鎖解除後に空港の運用に支障を与えないことが最優先の工事でした。航空保安施設の損傷防止や、誤進入防止など万全な安全対策を講じて作業に当たり、無事故・無災害で工事を完了できました。非常に厳しい工程ではありましたが、2020年4月からの増便予定に間に合わせることで、発注者からは高い評価を得ることができました。

南阪奈道路 竹内舗装工事

発注者 西日本高速道路株式会社 関西支社
竣工日 2020年8月3日
工事概要

アスファルト舗装工	26,000㎡
コンクリート舗装工	11,000㎡
切削オーバーレイ工	12,800㎡
排水構造物工	4,600m
防護柵工	3,000m
管路工	7,200m



本工事は、南阪奈道路の太子IC~葛城IC間の交通事故対策を目的とした付加車線設置事業に伴う舗装工事です。当該区間は、暫定2車線で供用されていましたが、設計基準交通量を遥かに超える交通量で、対面通行である竹内トンネル内での重大事故発生などのリスクがあることから、早急な4車線化が求められていました。2020年2月からII期線の暫定供用となり、2020年7月に完全4車線供用を開始しました。



現場代理人 赤坂 顕久
 当初の予定よりも開通時期が早まり、施設工事との工程調整、暫定供用への切替時期を考慮して、トンネル内の壁高欄の2次製品化、複数班による同時施工を行い工程短縮に努めました。本線開通後の工事用道路の復旧も本線施工と並行して進め、暫定供用時はお客様の安全を第一に考え、無事故・無災害で1ヵ月早い工期内検査を行うことができました。トンネル内のコンクリート舗装、明かり部のアスファルト舗装共に平坦性も良く高評価を受け、発注者より表彰状と感謝状をいただきました。

令和2年度 138号BP水野北地区舗装工事

発注者 国土交通省 中部地方整備局
竣工日 2021年2月26日
工事概要

土工事	4,500㎡
法面工(客土吹付)	4,700㎡
路床安定処理工	6,900㎡
防水工	1,000㎡
アスファルト舗装	12,000㎡
区画線工	4,100m
防護柵工	1,700m



国道138号須走道路・御殿場バイパス(延長5.6km)は、東富士五湖道路、東名高速道路、新東名高速道路及び神奈川県西部地域を結び生活および経済活動を支え、観光道路としても重要な役割を担っています。また交通渋滞解消、交通安全の確保および沿道環境の改善などを目的に計画されたバイパスです。



監理技術者 三條 直樹
 土木工事の醍醐味でもありますが、切土区間の湧水や路床の支持力不足なども多く、集水ポーリングや地盤改良などの追加工事が発生しました。新技術の活用を積極的に行い、TLS(3次元レーザースキャナ)、UAV(ドローン)などの測量技術を活用し高品質・高精度な施工を行うように心掛けました。本工事はインターチェンジを含み、他工区との工程調整が非常に困難でしたが、計画工程通りに進行でき、また完全休休2日の達成を実現し、発注者からも高い評価をいただくことができました。

令和2年度 鹿児島空港誘導路(P-4)改良工事

発注者 国土交通省 九州地方整備局
竣工日 2021年3月25日
工事概要

コンクリート舗装撤去	2,500㎡	アスファルト舗装	1,900㎡
プレキャスト版舗装	2,100㎡(86枚)	仮設アスファルト舗装	1,400㎡
(高強度PRC舗装版)			



鹿児島空港誘導路(P-4)の老朽化した既設コンクリート舗装版を撤去し、高強度PRC舗装版を設置する誘導路改良工事を行いました。航空機運航の安全性を確保するために高い施工精度を求められる現場でした。



監理技術者 西口 公基
 誘導路の既設コンクリート舗装版をクレーンにて撤去し、路盤修正後に高強度PRC舗装版を据付け、日々誘導路を供用させる工事でした。事前に既設コンクリート舗装版のクラック調査を行い、撤去作業は、ひび割れによる破損防止に留意して油圧ジャッキを使用し慎重に行いました。最重要課題は路盤仕上げ・高強度PRC舗装版の据付の精度とスピードでした。小型バックホウのPATプレートによる情報化施工にて仕上り高さを検出し、路盤と高強度PRC舗装版の据付を行い高精度の施工ができました。発注者から難工事における工程管理および出来栄において、高い評価をいただきました。